



スマイル 天神

思いやりのある子・進んで学ぶ子
明るくたくましい子

天神小学校
学校だよりNo. 22
令和元年 10 月 4 日
発行者 蒲川法子



前期終了まであと 1 週間 ～通知表（あゆみ）は子どもを励ますきっかけです～

来週 11 日は、いよいよ前期の終業式です。終業式には通知表（あゆみ）を一人一人に渡します。1 年生にとっては入学して初めての通知表です。

前期の始め、学校教育目標である「思いやりのある子 進んで学ぶ子 明るくたくましい子」になろうと子どもたちに話しました。4 月～6 月は「声を出す」「そろえる」、6～9 月は「できるまでくり返す」9 月からは「できたことを見せる、伝える」を合言葉に頑張ってきました。

各学級を訪れ、こどもたちの様子を見ると、どのクラスも熱心に学習に取り組む様子を見ることができ、校長としてたいへんうれしく感じております。子どもたちなりに理解し、解決し、友だちに認められ、「わかった！ やった！ できた！」と喜びを表しながら、充実感や存在感、所属感を味わっているようです。

小学校で指導する学力の重要な 3 つの要素として①基礎的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力、表現力等の能力、③学習意欲（主体的に学習に取り組む態度）があります。

通知表の学習の記録の欄には、これら①②③の学力の視点から見たお子さんの状況を記載してあります。「よかった、悪かった」とだけ、見るのではなく、どの教科のどんな学力で子どもの力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのかなど、お子さんの努力の様子をご確認ください。また、「学校生活のようす」ではあいさつ、言葉遣いなどの基本的な生活習慣、人や自然とのかかわり方、約束やきまりを守っているか、仕事への取組などの面から評価し記載しています。行動の状況は学習面での意欲や成果につながる大切な要素です。

たくさんほめられた子どもは、人のよさにも気づき、人を認める子どもに育っていくものではないでしょうか。通知表（あゆみ）をひとつのきっかけとして、学校生活について子どもと会話を交わす機会とし、学習面、行動面のよさを認め励ます機会にしていきたいと考えております。

異学年交流活動

本校は、14 学級で 345 人の学校です。学級単位、学年単位で活動することが多いのですが、異学年の交流もしています。

一つは地区別交流遊びです。地区別に 13 グループを作って、6 年生の計画のもと、年に 4 回ほど上級生から下級生まで仲良く遊んでいます。グループごとに集まるのははじめは時間を要しますが 6 年生が 1 年生を迎えに行くなどサポート体制を整えているので楽しく活動できています。

二つ目は、交流遊びです。生活委員会の計画のもと、昼休みに体育館で行っています。今週は、1 年生と 6 年生がドッジビーをしました。子どもたちに話を聞くととても楽しかったとのこと、子どもたちの主体性を育てる良い機会ととらえ教師は見守りの立場で寄り添っています。

異学年交流を通して、社会生活を営む上で必要な相互に認め合う態度や相互にとって好ましい関係を作り出す人間関係力を育てていきたいと思ひます。



< 交流遊びでの説明 >